

地域整備方針

(東京都・川崎市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>羽田空港南・川崎殿町・大師河原地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 国際拠点空港である羽田空港に近接する大田区羽田空港南地区、川崎市殿町・大師河原地区において、羽田空港への近接性や多摩川に面した優れた地域特性を活かし、公民連携によるインフラ整備と、適切な土地利用の誘導により、都市機能の集積を進め、東京圏のビジネス機能、新産業創造・発信機能を支え、日本経済の持続的な発展を牽引する国際競争拠点を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○多摩川に面する良好な環境を備えた居住機能の強化にあわせて、業務、商業機能の強化、景観形成や緑化の推進による魅力的な都市環境を形成 ○優れた立地特性を活かし、国内外の大学や研究機関と連携したライフサイエンス・環境分野の先端産業等の研究開発機能、賑わい・交流機能、物流機能、生産機能を強化 ○国際競争拠点の中核機能をサポートし、京浜臨海部を中心とするネットワークを強化する臨空関連機能、交通拠点機能、産業インキュベーション機能等の都市機能を強化 ○京浜臨海部の地域特性を活かし、水素や太陽光発電等のクリーンで自立的なエネルギーの活用により、環境負荷の低減を図るとともに、防災機能等の強化による災害時にも強い産業基盤を形成 ○交通アクセスの向上のための交通ネットワークの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○川崎縦貫道路の整備による広域交通アクセスの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・首都高速道路川崎縦貫線の整備 ○交通の円滑化・安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・国道409号線の整備 ・臨港道路東扇島水江町線の整備 ・京急大師線の連続立体交差による踏切渋滞の解消 ○都市開発事業にあわせて、防災・洪水対策として多摩川スーパー堤防を整備するとともに、歩行者・自転車ネットワークを整備 ○京急大師線小島新田駅までの歩行者ネットワークの整備によるアクセスの向上 ○京急大師線産業道路駅の周辺整備とバスアクセスの向上 ○内奥運河から多摩川に連続した緑のネットワークの形成について検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○多摩川沿川において、水辺環境の魅力を活かし、景観形成に配慮した都市開発事業を促進
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕 国家戦略特区における東京圏の重要なエリアである羽田空港南地区と殿町地区において、羽田空港を中心とした連携を強化し、世界で一番ビジネスのしやすい環境を整備することにより、世界から資金・人材・企業・情報等を集めるとともに、ライフサイエンス分野等におけるイノベーションや、東京圏の国際化と活性化に寄与する機能形成を通じ、東京圏のビジネス機能、新産業創造・発信機能を支える成長戦略拠点を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○羽田空港周辺・京浜臨海部の特長と強みを活かした「ヒト・モノ・ビジネス」の交流促進や連携強化を図ることにより、日本の魅力・強みを集め、世界を惹きつける魅力的な都市環境を形成するとともに、イノベーションを創出する研究開発機能やそれを支える多様な機能を強化 ○成長戦略拠点の形成を支えるインフラ整備等による交通ネットワークの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○成長戦略拠点の形成を支える羽田空港南地区と殿町地区とを結ぶ連絡道路の整備とバス等による両地区間のアクセスの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○羽田空港南地区、殿町地区における導入機能について、相互補完、連携しながら都市開発事業を促進

	<p>(羽田空港南地区)</p> <p>国際的な拠点空港である羽田空港に隣接し、多摩川、海老取川の豊かな水域空間を有する羽田空港南地区において、立地特性を活かし、文化・交流機能、産業支援機能、商業機能、空港連携機能などの導入を図り、周辺環境との共生を目指した潤いと安らぎのある空間を形成しつつ、人・モノ・情報の活発な交流を促進し、羽田空港機能を強化する成長戦略拠点を形成</p>	<p>○国際的な拠点空港である羽田空港の機能を十二分に発揮するとともに、首都東京の国際化と活性化に寄与する多様な機能を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モノづくり企業が集積する地域産業と国内及びアジアを中心とする海外との広域的な交流拠点機能を強化 ・国際線旅客等の利便性の向上に資する宿泊機能を強化 ・航空・空港関連、観光関連、国際交流関連など、国際線地区に隣接したエリアにふさわしい複合業務機能を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な街区を形成し、効果的な土地利用を図るための地区内幹線道路の整備 ○地域内道路を整備し、ゆとりある歩行者空間や自転車ネットワークの整備 ○市街地からアクセスできるようにするための公共的駐車場の整備 ○市街地に隣接した水と緑のオープンスペースが開け、環境との共生を目指した潤いと安らぎのある空間を形成 ○天空橋駅を核とする交通結節機能向上のため、駅前広場を配置 ○国際線旅客ターミナルビルとの接続のため利用者が徒歩で移動できるアクセス通路(空中歩廊)の整備 ○多摩川、海老取川の水際線に接し、空港に臨む魅力的な立地を活かし、土地利用に合わせて、適切に公園や緑地を配置 ○ゆとりある歩道や公園・緑地の整備、沿道へのオープンスペースの誘導などにより、安全で快適な歩行者空間を確保 ○移動しやすい歩行空間の確保など、ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 ○公共的空地や道路沿道の緑化、遮熱性舗装などの実施により、ヒートアイランド現象の緩和を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○世界と地域をつなぐ特性を活用し、人・モノ・情報の活発な交流を促進し、多様な施設に人が集まり、憩い、楽しみ、高度な充足感が得られる空間の形成に資する都市開発事業を促進 ○世界でも有数の規模を誇る羽田空港の機能を十二分に発揮させるため、さらなる空港の発展と活用に資する都市開発事業を促進 ○環境との共生を目指した潤いと安らぎのある空間形成を図る都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、敷地内・屋上・壁面緑化等により、ヒートアイランド対策を誘導 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により、地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、未利用エネルギーの活用、自立・分散型かつ高効率なエネルギーシステムの導入を誘導
--	---	--	---	---

	<p>(殿町地区)</p> <p>羽田空港に近接し、多摩川の豊かな水辺空間を有する殿町地区において、多摩川に面したうおいと緑豊かな良好な都市環境を形成しつつ、公民連携によるインフラ整備と適切な土地利用の誘導により、ライフサイエンス・環境分野の研究開発等の中核機能、国内外の人材、もの、情報の交流拠点となる都市機能の集積を進め、国際競争力の強化を先導する世界的なイノベーション創出拠点を形成</p>	<p>○ライフサイエンス・環境分野の国際競争拠点の中核機能となる高度な研究開発機能等の強化とこれを支える多様な機能を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大学や研究機関、医療機関、企業等と連携した先端産業等の研究開発機能の強化 ・研究開発シーズの早期実現のための産業インキュベーション機能、生産機能の強化 ・国内外の高度人材・企業等の交流、情報発信のための賑わい・交流機能、物流機能、臨空関連機能、交通拠点機能の強化 <p>○京浜臨海部に集積する、水素や太陽光等に係る高度な環境技術の活用により、環境負荷の低減を図るとともに、自立的なエネルギー源の確保を図ることで、防災機能や災害時のライフライン機能を強化</p> <p>○主要な鉄道駅や羽田空港への交通アクセス向上のための交通ネットワークの強化</p>	<p>○京急大師線産業道路駅や羽田空港へのバスアクセスの強化</p> <p>○多摩川に面した部分を公共施設として、緑地や広場等を整備</p> <p>○地域内の幹線道路から多摩川へ抜ける通路の整備</p>	<p>○羽田空港を経由する国内外の高度人材を引きつける都市機能の強化</p>
--	--	---	---	--

地域整備方針

(神戸市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>神戸三宮駅周辺・臨海地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>神戸市の都心の中核であり、複数の交通機関の結節点である三宮駅周辺および三宮駅からウォーターフロントに至るまでの地域において、商業、業務、文化など様々な都市機能の集積を図り、広域かつ多様な都市拠点を形成</p> <p>ユニバーサルデザイン化や低炭素都市づくりなどを進めるとともに、国際的な都市間競争に負けない都市として持続的に発展していくため、デザイン都心神戸にふさわしい風格と賑わい、活力のある都市空間を創造しつつ、安全、快適で災害に強い市街地を形成</p> <p>臨海部における港湾としての緑地やプロムナードの充実等によるウォーターフロント空間の高質化、水際線沿いの回遊性の向上等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○建物の整備、更新にあわせて、商業、業務、文化、交流、防災機能の充実 ○三宮駅周辺において、都心居住機能を導入 ○三宮駅周辺において、駅の改築や駅周辺の再整備にあわせて、鉄道、バス、タクシーなどの各交通機関間の連絡の円滑化、駅前広場機能の強化などにより、交通結節機能を強化し、利便性、回遊性の向上を図るとともに、交通関連施設における滞留空間や災害時の備蓄機能の整備などにより防災対策を充実 ○新港突堤基部における港湾物流機能の移転、施設の更新にあわせて、居住・業務・商業などの複合的な機能を導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○三宮駅周辺において、各公共交通機関の乗り換えの利便性、回遊性、防災性の向上を図るため、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、案内サインやオープンスペースを備え、地下、地上、デッキレベルの歩行者動線の3層ネットワークなど安全で快適な歩行者空間を充実 ○三宮駅周辺において、駅前広場と連続した敷地空間の確保により、バスターミナルなどの駅前広場機能や災害時の一時滞留空間などの防災機能を充実、補完 ○ウォーターフロント空間の高質化や、水際線沿いの回遊性の向上などを図るため、臨海部に緑地やプロムナードを整備 ○防潮胸壁、陸間の整備による、津波、高潮に対する防災機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○三宮駅周辺において、すべての人の安全・快適な活動に寄与する歩行者空間を確保した都市開発事業を促進 ○三宮駅前や税関線の沿道において、神戸の顔にふさわしい建築物等の意匠や形態についての配慮など、風格のある景観形成に資する都市開発事業を促進 ○低炭素都市の実現に資する都市開発事業の促進

<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>歩く人が中心のまちを目指す神戸の都心において、交通環境を再構築するとともに、更なる神戸らしい景観の形成などを推進し、「心地よいデザイン」を備え、公共空間と民地が一体となった神戸ならではの都市空間を官民協働で創出することにより、国内外から多様でクリエイティブな人材・企業の集積を進め、これらの交流・融合による技術革新や新たな産業の創出を促進することで、文化・経済が持続的かつグローバルに発展し、世界に貢献する未来創造都市のリーディングエリアを形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○医療産業都市、大学集積都市としての神戸の強みを活かした産学連携・交流機能の導入とともに、起業支援の取り組みやビジネスマッチング、グローバルな企業活動を支える高度な業務機能を導入 ○居住者、滞在者等の創造的活動を支える文化・交流機能を導入 ○ユニバーサルデザインの考え方に基づき、多様な国籍、文化、性別、世代の人が安心・快適な都市生活を享受できるアメニティ機能を導入 ○建築物の低層部へ賑わいの創出に資する商業機能等を導入することにより、回遊する魅力の高い歩行者空間を形成 ○各交通手段の乗換え利便性の向上、駅前広場の再整備、国際空港や他都市とのアクセス性向上に資するバスターミナルの整備等により、交通結節機能を強化 ○多言語に対応した緊急時の情報発信手段や帰宅困難者の退避施設等の防災機能を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○三宮交差点を中心として、フラワーロード及び中央幹線の一部を、神戸の玄関口を象徴する人と公共交通が優先の空間として整備 ○周囲からの視認性に優れた歩行者の垂直動線及び滞留空間を備えた空間を整備し、地下、地上、デッキレベルの歩行者空間ネットワークを強化するとともに、国内外からの来訪者を誘導する統一された多言語の案内サインを整備 ○道路空間・道路地下空間の活用によりまちなか空間のにぎわいや魅力を創出するとともに、歩行者空間の拡大・魅力化や歩行者動線の強化などの回遊性向上のための施策を実施 ○駅前広場の拡充等により、歩行者空間の充実や交通結節機能の強化を図るとともに、災害時における帰宅困難者の安全な滞留にも対応できる防災機能を強化 ○都心において潤いのある心地よい空間を創出するため、緑陰空間や休憩場所の整備、東遊園地の芝生化や屋上を活用した緑地の整備等により、花と緑のネ 	<ul style="list-style-type: none"> ○神戸らしい都市景観や世界に誇る夜間景観の更なる整備、眺望の視点場の整備に資する都市開発事業を促進 ○都心において、新たな交通手段を都心交通として導入するなど、歩行者と公共交通を優先し、快適に移動できる効率的な交通システムを構築 ○エリアマネジメントにより、公共空間の利活用や地域の特色を活かしたまちの魅力を向上 ○震災復興の記憶とともに、神戸の魅力・発展の展望を国内外に広報・PRするシティープロモーションを強化 ○既存地下空間を活用した電気・熱融通システムの構築等により、環境負荷の低減とともに、防災性の高い業務継続地区を形成
---	---	---	---

		<p>○国内外からの来訪者、滞在者の活動拠点の形成に資する総合的な情報提供機能、宿泊機能を導入</p>	<p>ネットワークを形成</p> <p>○歩く人を中心とする交通環境の再構築に資する駐車（自転車を含む）、荷捌きの施設を適切に配置</p>	
--	--	---	---	--